

第五十回帝國議會
衆議院

輸出組合法案(政府提出)外一件(輸出組合法案(政府提出)重要輸出組合法案(政府提出))委員會議錄(速記)第五回

會議

大正十四年二月十七日(火曜日)午前十一時三十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 高木益太郎君

理事 山口 義一君

一柳仲次郎君 松井 郡治君

荒井 健三君 長峰 與一君

金光 庸夫君 津崎 尙武君

前田房之助君 田中 定吉君

加藤 知正君 内田 信也君

武藤 嘉門君

出席政府委員左ノ如シ

農商務政務次官 三土 忠造君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

輸出組合法案(政府提出)

重要輸出品工業組合法案(政府提出)

○高木委員長 只今カラ開會致シマス、加藤君

○加藤委員 私ハ此二ツノ法律案ニ對シテ、別ニ修正スル所ハ無イト思ッテ居リマシタ、然ル所大阪ノ或ル團體カラ、工業組合法案ノ第九條ヲ削除シテ貫ヒタイト云フ電報ガ參ッタノデアリマス、ソレニ付キマシテ實ハ私ハ之ヲ削除スル必要ハ自分トシテハ認メマセヌ、併ナガラ之ニ付キマシテ此場合ニ三質疑ヲ致シマシテ、政府當局ノ御意見ヲ伺ッテ置クコトガ、本法ノ施行上便宜ト考

ヘマシテ御伺ヲ致ス次第デアリマス、此第九條ニハ「工業組合又ハ其ノ組員ハ其ノ營業ニ關スル重要物産同業組合ニ依リ同業組合ニ加入セス又ハ之ヨリ脱退スルコトヲ得」トアリマス、之ヲ二ツニ切離シテ考ヘテ見マスト、重要物産ニ從事シテ居ル者ガ同業組合ヲ設立シヤウト考ヘタ所ガ、三分ノ二以上ノ同意ヲ求メナケレバナラヌト思ッテ居ル所ヘ持ッテ來テ、此法律ガアリマス爲ニ、自分等ハサウ云フモノニ加入セナイデモ、工業組合ノ方ニ加入スルノデアアルカラト云ッテ、ソレニ賛成セヌト云フコトニナリマス、折角一方ニ於テ重要物産同業組合法ニ依テ、組合ヲ組織シヤウト思ッテ居ル者ガ、規定通リノ同意者ヲ得ルコトガ出來ナイ爲ニ、其組織ヲスルコトガ出來ナイト云フヤウナコトガ出來シマス、一方ノ重要物産同業組合ト云フモノガ成立タヌコトニナル、斯ウ云フ心配ガアル、ソレカラ今度又一方自由ニ此組合カラ脱退スルコトガ出來ルト云フコトニナッテ、トシテ脱退シタ場合ニ於テハ、折角出來テ居ル所ノ同業組合ガ、ソレガ爲ニ解散シナケレバナラヌ、維持スルコトガ出來ナイト云フヤウナ不幸ニ陥ラヌトモ限ラヌ、サウ云フヤウナコトガアリマシテハ、折角ノ重要物産同業

組合ノ發達ガ妨害セラレルヤウナ心配ガアル、斯ウ云フ事ハ政府當局ハドウ云フ風ニ御考デゴザイマセウカ、詰リ此工業組合ト云フモノニ依ッテ出來タ所ノ組合ヲドク盛立テ、重要物産同業組合法ニ依ッテ出來ル所ノ組合ト云フモノハ自然消滅ニナラウガ、或ハドウ云フ結果ニ終ラウガ、ソレハ構ハヌ、斯ウ云フヤウナ御趣意デアリマセウカ、或ハ又此二ツノ——重要物産同業組合ヲ圓滿ニ育ッテ行ク、一面重要物産工業組合法ニ依ル所ノモノヲ圓滿ニ育ッテ行ク、二ツヲ併セテ圓滿ニ發達セシメヤウト云フヤウナ御考デアリマセウカ、其邊ヲ一ツ伺ヒタイノデアリマス

○三土政府委員 工業組合法ノ第九條ヲ規定致シマシタノハ、現在ノ重要物産同業組合ト云フモノハ、御承知ノ通り強制加入ニナッテ居リマス、ソコデ重要物産同業組合ニ屬シテ居ル者ガ新ニ出來マス所ノ工業組合ヲ組織スル場合ニ於テ、此規定ガ無イト云フト兩方ヘ二重ニ入ラヌケレバナラヌ、二重ニ入ル必要ノ有ル人モアリマセウガ、二重ニ入ル必要ノ無イ人モアルダラウト思フノデアリマス、故ニ此極端ナル場合ヲ想像致シマシテ、此規定ヲ設ケタノデアリマス、即チ重要物産同業組合員

ニシテ此工業組合ヲ新ニ組織スルト、ソレニ加入スル人ガ兩方トモ入ラヌケレバナラヌト云フ不便ヲ感ズル人ハ、此規定ニ依ッテ重要物産同業組合カラ脱會スルヲ許シタ規定デアリマス、政府ト致シマシテハ之マデ存在シテ居ルマス重要物産同業組合ト云フモノハ、相當ナ働ヲ致シ、相當ナ歴史ヲ有ッテ居ルノデアリマスカラ、此組合ノ益、健全ニ發達スルコトヲ希望シテ居リマス、同時ニ此重要物産同業組合ダケデハ目的ヲ達セヌカラ、新ニ工業組合ヲ組織セシメ、此組合ノ健全ナル發達ヲ希望シ、兩方ノ組合ノ發達ヲ希望致シマスガ、或場合ニ於キマシテハ脱退者ヲ生ズルコトハ止ムヲ得ヌダラウト思ヒマス

○加藤委員 詰リ茲ニ織物組合ガアリマシテ、其織物組合員ニハ輸出向ノ物ヲ拵ヘテ居ル者ト、内地向ノ物ヲ拵ヘテ居ルモノト斯ウ二ツアルト致シマシテ、サウシテソレガ爲ニ此工業組合ニ一方ハ輸出向ノ方ハ加入シテ居ル、サウスト其殘ッタ所ノ者ハ内地向ノ物ヲ拵ヘルト云フコトニナル、ソレデ其殘ッタ所ノ重要物産同業組合ト云フモノガ維持ガ出來レバ宜シウゴザイマスガ、若シ維持ガ出來ナイト云フコトニナルト、遂ニソレヲ解散シナケレバナ

ラヌ、サウスルト一方ハ工業組合ノ方ニモ加入セズ、サウシテ又重要物産組合ノ方ニモ加入スルコトガ出来ナイト云フコトニナリマシテ、同じ織物業者デアリナガラ、遂ニ不公平ナ取扱ヲ受ケナケレバナラヌト云フヤウナコトニナルト思ハレルノデアリマス、内地向ノ織物ヲ拵ヘル者ハ、詰リドチラニモ加入セズシテ、サウシテ遂ニ自分ノ事業ノ發展ヲ期シテ行クコトガ出来ナイヤウナコトニナリハセヌカト思フ、其邊ノ事ニ付テ御意見ヲ伺ヒタイ

○三土政府委員 重要物産トシテ

重要輸出品トシテ農商務大臣ノ指定シタル織物、其織物業者ガ假ニ輸出品トシテハ二割ヲ製造スル、他ハ内地向ヲ製造スル、此人ハ新ニ出来ル組合ニ入ル譯デスガ、純然タル内地向ノ物バカリヲ造ツテ居ル者ハ、此組合ニハ入ラヌノデアリマス、隨テ同一地區ニ於テ重要物産輸出品ヲ主トシテ造ツテ居ル所ノ者ハ、新ニ出来タ工業組合ニ入ッテ、既存ノ重要物産同業組合等デヤツテ居リマシタ所ノ織物同業組合ガ非常ニ無勢力デ、之ガ爲ニ解散スルト云フヤウナ場合ニドウスルカト云フコトニナルト、私共ノ想像スル所ニ依ルト、織物ト云フモノハ随分大キナモノデアリマスカラ、内地需要ダケデモ十分組合ヲ組織シテ行ケルダラウト思フ、併シ或ル極端ナル場合ニ重要輸出品ヲ造ル者ガコ、カラ脱會シタ爲ニ、成立タヌト云

フコトアットハ想像出来ナイケレドモ、アッタ場合ニハ止ムヲ得ヌコト、考ヘルヨリ外仕方ガナイ、他ノ小サイ仕事ト違ヒマシテ、織物ハ随分大キナ仕事デアリマスカラ、内地ダケノ需要デモ随分大キイノデアリマスカラ、サウ云フ事ハ殆ドアルマイト思ヒマス

○加藤委員

モウ一ツ伺ヒマス、ソレハ第六條ノ「工業組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款違反者ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得」是ハ先日質問致シタノデアリマスケレドモ、其次ノ第八條デアリマス、「營業上ノ弊害ヲ矯正スル爲テ必要ト認ムルトキハ行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ依リ工業組合ノ組合員ニ非サル者ニシテ其ノ組合ノ地區内ニ於テ組合員タル資格ヲ有スルモノヲシテ其ノ組合ノ定ムル取締又ハ制限ニ依ラシムルコトヲ得」此八條ニ從ハヌ者ハ第四十條ノ「第八條ノ規定ニ依ル行政官廳ノ命令ニ違反シタル者ハ十圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス」斯ウ云フ事ガアリマス、サウスルト此組合ニ加入シタル者ハ、詰リ自分ノ主張ハ主張シ、反對ノ意見モ述ベテ、サウシテソレニ從ハヌ場合ニハ過怠金位デ濟ム、所ガ今度此組合ニ加入シナイ者ハ、行政官廳ノ命令ニ從ハヌ場合ニ於テハ十圓以上五百圓以下ノ過料ニ處セラレ、甚ダ嚴罪ノヤウニ思ハレル、サウ致シマスト段々之ヲ煎ジ詰メテ見マサルト、組合ニ加入シナイデ居ル者ガ命令

ニ從ハヌトキハ非常ニ重キ制裁ヲ受ケナケレバナラヌ、加入シタ者ハ過怠金位デ濟ム、是ガ即チ工業組合ニ加入セシムル所ノ目的カラ出テ居ルニハ相違ナイケレドモ、併シ是ハ詰リ或ハ政府ガ不法干渉ヲシ、壓迫ヲシテ、個人ノ營業權ニ立入ッテ非常ナル所ノ干渉ヲスルヤウナコトニナリハセヌカト云フヤウニ思ハレマスガ、其點ハ如何デスカ

○三土政府委員

第八條ノ規定ハ斯ノ如キ團體法制ニハ共通ノ規定デアリマシテ、總テ是マデ、モ團體法制ニハ此規定ヲ設ケテアリマス、第六條ノ方ノ過怠金ト云フモノハ自治的ニヤルモノデアリマスカラ、自治的ニ過怠金ヲ課スルノニ、國ガソレ以上ニ立入ッテ制裁スル必要ハナイ、自治的ニ過怠金トカ除名スルトカ出来ルカラ、ソレ以上ニ國ガ制裁ヲ加ヘルコトハ致サナカッタ次第デアリマス

○高木委員長

ソレデハ是デ質疑ヲ打切リマシテ、討論ニ入りマス

○津崎委員

私ハ此組合法ニ付キマシテ賛成スルノデアリマス、此日本ノ現狀カラ致シマシテ、輸出貿易ノ振興ヲ圖ルト云フコトガ最モ大事ナ國策ノ一ツデナケレバナラヌ、サウ云フ意味カラ致シマシテ、内地ノ工業ヲ盛ニシ殊ニ輸出品工業ヲ盛ニシテ、併セテ海外ノ市場ヲ開拓シテ行クト云フコトヲシナケレバナラヌ、政府ガソレニ著眼セラレテ、此消極主義ヲ主トシテ執ッテ居

ラレル中ニ此組合法ヲ御出シニナッタト云フコトハ、寧ロ現政府トシテ吾々ノ之ヲ歡迎スル所デアリマス、唯、段々本案ニ付キマシテ質問應答ヲ繰返シテ居リマス中ニ、此組合法ノ制定ヲ致サレマシテ實行シテ行クニ付キマシテ、言ヒ換ヘマスレバ此組合法ノ目的ヲ達スルニ付テ必要ナル二三ノ事柄ニ付キマシテ、吾々ガ本案ヲ賛成スルニ付キマシテ必要ナ事ヲ吾々ノ意見トシテ附帶シテ之ヲ決メテ置キタイト云フ考デアリマス、ソレハ此法案ノ一番ノ目的ハ輸出品ノ粗製濫造ヲ除イテ、サウシテ廉價ナ製品ヲ力メテ多ク海外ニ出サ

○高木委員長

ウ、斯ウ云フ事ニ外ナラヌノデアリマス、サウシマスレバ粗製濫造ヲ除キ、製品ヲ廉價ニ生産スルト云フコトノ爲ニ、ソレハ法案ノ規定ガアリマスケレドモ、之ヲ適用スルニ付キマシテ、政府ハソレニ適當ナ助力ヲ爲サナケレバナラヌト思フノデアリマス、而シテ其偶、製造セラル、ニ付キマシテ、最モ必要ナモノハ何デアアルカト云ヘバ、工業者モ亦延テハ輸出業者モ此資金ノ問題ニ付テ非常ニ苦心シテ居ル、此資金ノ關係ヲ圓滑ニスルデナケレバ、此法案ヲ作ツタ目的ヲ達スルコトハ出来ナイコトニ相成ルノデアリマス、更ニ又其偶、廉價ニシテ且ツ優良ナ商品ガ出来マシテモ、海外ノ市場ヲ適當ニ開拓シテ行クデナケレバ、貿易ノ振興ヲ圖ッテ行クコトハ出来ナイノデアリマス、

此海外ノ市場ノ開拓ニ付キマシテハ從來商務官ノ施設ガアリマシテ、ソレガ一旦廢止セラレタノヲ、農商務省ヲ置カウトシタ時ニ、外務省ガ自分ノ管轄ナリトシテ、三四年前ニ再ビ商務官ヲ置クコトニナッタコトハ御承知ノ通りデアアル、是又外務省ノ行政整理ノ結果廢止セラレテ、ソレニ代ルカ代ラヌカ知リマセユガ、農商務省デ此法案ヲ御制定ニナルニ付キマシテ、貿易ニ關係アル者ヲ海外ニ駐在セシメテ、其振興ヲ圖ルト云フ施設ガアルノデアアリマスケレドモ、吾々ハサウ云フ事ニ付キマシテ簡單ナ僅カ八萬圓位ナ金デ、此海外ノ十箇所ニ通信員ヲ置イテヤルト云フヤウナコトデハ、折角此法案ヲ御作りニナツテモ、輸出貿易ノ振興ヲ十分ニ期スルコトハ出來ナイト思フノデアリマスカラ、此事ヲ考慮致シマシテ、外務省邊リニ役人ヲ置ク必要ハ無い、農商務省デ御奮發ニナツテ、サウシテ此海外ニ於ケル商品市場ノ維持開拓ノ爲ニ必要ナル施設ヲ擴張シテ貰ヒタイ、斯ウ云フ希望ヲ吾々ハ此本案ヲ認ムルニ付キマシテ附帶致シマシテ、吾々ノ意思ヲ茲ニ表明致シマシテ本案ヲ認メタ

「輸出組合法並ニ重要輸出品工業法制定ノ目的ヲ達成スルニ必要ナル資金供給ニ關シ最善ノ努力ヲ爲スヘシ」第二「大量生産ノ實ヲ擧ケ輸出品質ノ改善ト價格ノ低廉ヲ期スル爲中小工業ノ資

本合同助成ニ努ムヘシ」第三「輸出貿易ノ振興ヲ圖リ商品販路ノ擴張市場ノ維持開拓ノ爲必要ナル施設ヲ爲スヘシ」ト云フ此三項ヲ決議トシテ附帶致シマシテ、本案ニ賛成スルノデアリマス、斯ク申シマスレバ、斯ウ云フ事ハ段段質問應答ヲ拜聽致シテ居リマスト云フト、此事柄ニ付キマシテハ皆御賛成ノヤウデアリマス、併ナガラ折角政府ガ積極法案ヲ御提出ニナツテ吾々ガ之ニ賛成スルナラバ、ソノ事ヲ言ハヌデモ宜イデヤナイカト云フコトニナルカモ知レマセユガ、吾々ハ此法案ノ規定スル所ハ、其規定ニ從ツテ施行セラレテ行キマセユガ、折角法案ヲ作りマシテモ、之ヲ施行スルニ方ツテ政府ガ相當ノ努力ハ爲サルデアリマセウケレドモ、常ニ役人ハ官廳ノ内部ニ於テ變轉移動シテ居ル、政府ハ始終送テ行クト云フヤウナ事情デアアルノデアリマスカラ、此法案ヲ制定スルニ方リマシテ、吾々ハ此輸出貿易ノ振興ヲ圖ルニ付テ必要ナル法案ヲ認ムルニ付キマシテ、此目的ヲ達成スルニ必要ナル此條項ヲ附帶シテ、サウシテ吾々ガ此案ニ賛成シタト云フコトヲ明瞭ニ致スコトガ必要ダト信ジマス、斯ノ如キ事ヲ決議トシテ附ケタイ、斯ウ思フノデアリマス

○高木委員長 御意見ハゴザイマセヌカ
○加藤委員 私ハ此二ツノ法律案ニ對シマシテ双手ヲ擧ゲテ歡迎致シ、賛成スルコトハ前申上ゲタ次第ゴザイマス、只今附帶決議ヲシテ此二ツノ法案ニ賛成シタイ、斯ウ云フ御意見デゴザイマスケレドモ、是ハ私ハ既ニ政府ガ此法律案ヲ御提出ニナリマスル御意思ハ、既ニソコニ在ルコト、思フノデアリマス、只今御朗讀ニナリマシタ其資金關係ト云ヒマシテモ、或ハ大量生産ノ關係ト申シマシテモ、或ハ市場ノ開拓ト申シマシテモ、ソレ等ニ向ツテ政府ハ最善ノ努力ヲスルト云フコトハ、先日來屢々繰返シテノ御聲明デアアルノデアリマス、其上左様ナ決議ヲ致シマシテ之ヲ決スルト云フコトハ、甚ダ穩カナラヌ事ト考ヘマス、デアリマスカラ私ハ寧ろ政府ノ誠意ヲ信賴致シマシテ、詰リ希望位ニソレヲ止メテ置キマスルナラバ宜シウゴザイマスガ、決議等ニハ致シマセヌデ、ソレ位ニシテ賛成スルコトニ致シタイト思フノデアリマス

〔速記中止〕

○津崎委員 只今段々御話デアリマシテ、吾々モ皆様ト共ニ熱心ニ此問題ニ付テ質問應答ヲ致シマシタ通り、兎ニ角非常ニ大事ナ問題デアリマスカラ、甚ダ失禮デアリマスケレドモ政府ヲ鞭撻スル意味ニ於テ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、併ナガラ委員會ト致シマシテ、折角ノ積極法案ニ付テ意見ガ多少ナリトモ異ナルト云フヤウナコトハ、本案ノ成立ニ付テイケ

ナ金ヲ而モ長期デ貸出ス方法ノ出來ル
ヤウニ御努力ヲ願ヒタイト思フノデア
リマス、此輸出資金ノ大切ナルコトハ
今日ニ始ラタ事デアアリマセヌ、嘗テハ
日本銀行ノ保證準備ヲ擴張シテ、日本
銀行ハ二分ノ低利ヲ以テ正金銀行ニ輸
出資金トシテ融通シテ居ル例モアルノ
デアリマス、現在シテ居ル譯デアリマ
ス、是等ノ如キハ何デモ納付金ガ印刷
費等ノ實費程度ノモノ、即チ日本銀行
ハ儲ケナイ、斯ウ云フヤウナ低利ナ金
ヲ供給シテ居ルヤウデアリマス、今回
ニ於キマシテモ必シモ保證準備ニ依ッ
テ低利ナ金ヲ貸サネバナラスト云フコ
トハアリマセヌケレドモ、ソレモ一ツ
ノ方法デアラウト存ジマスカ、成ベク
此趣旨ニ副フヤウニ政府ハ最善ノ御努
力ガ願ヒタイト思ヒマス、レカラ第
二ノ大量生産ノ實ヲ擧ゲテ、品質ノ改
良價格ノ低廉ヲ圖ル爲ニ、資本ノ合同
助成ヲヤツテ戴キタイト云フコトハ、是
ハ殆ド輿論デアリマシテ申スマデモナ
イ事デアリマスケレドモ、此法案ノ明
文ニハサウ云フコトハ現ハレテ居ナイ
ノデアリマス、成ベク此法案ノ提出ノ
趣旨ニ依ッテ、斯ウ云フ方向ニ向ケテ戴
キタイト斯ウ思フノデアリマス、第三
ノ販路ノ擴張、之ニ付キマシテハ先日
來私ガ度ニ質問致シマシヤウニ、新
タナル場所、新市場ノ開拓ハ無論ノ事、
新シキ商品ノ販路ノ擴張ト云フコトニ
モ特ニ御努力ヲ願ヒタイト思ヒマス、

其結果ハ重要輸出品ト云フ品目モ段々
殖エテ參リマセウト思ヒマス、此殖エ
テ參リマスコトハ特ニ望マシイ事デア
リマス、即チ新シキ市場ノ開拓、且ツ新
シキ商品ノ開拓ト云フコトヲモ政府ハ
御努力ニナルヤウニ御願シタイト思フ
ノデアリマス、希望ノ一端ヲ申述ベマ
ス
○高木委員長 ソレデバ討論ハ是デ終
結ヲシマシタ、ソレデ決ヲ採リマスカ、
ドナタモ御異議ガ無イヤウデアリマス
カラ、滿場一致可決セラレタモノト認
メマス希望ノ事ハ私カラモ報告ヲ致シ
テ置キマス、御苦勞様デアリマシタ
午後零時十一分散會

ナ金ヲ而モ長期デ貸出ス方法ノ出來ル
ヤウニ御努力ヲ願ヒタイト思フノデア
リマス、此輸出資金ノ大切ナルコトハ
今日ニ始ラタ事デアアリマセヌ、嘗テハ
日本銀行ノ保證準備ヲ擴張シテ、日本
銀行ハ二分ノ低利ヲ以テ正金銀行ニ輸
出資金トシテ融通シテ居ル例モアルノ
デアリマス、現在シテ居ル譯デアリマ
ス、是等ノ如キハ何デモ納付金ガ印刷
費等ノ實費程度ノモノ、即チ日本銀行
ハ儲ケナイ、斯ウ云フヤウナ低利ナ金
ヲ供給シテ居ルヤウデアリマス、今回
ニ於キマシテモ必シモ保證準備ニ依ッ
テ低利ナ金ヲ貸サネバナラスト云フコ
トハアリマセヌケレドモ、ソレモ一ツ
ノ方法デアラウト存ジマスカ、成ベク
此趣旨ニ副フヤウニ政府ハ最善ノ御努
力ガ願ヒタイト思ヒマス、レカラ第
二ノ大量生産ノ實ヲ擧ゲテ、品質ノ改
良價格ノ低廉ヲ圖ル爲ニ、資本ノ合同
助成ヲヤツテ戴キタイト云フコトハ、是
ハ殆ド輿論デアリマシテ申スマデモナ
イ事デアリマスケレドモ、此法案ノ明
文ニハサウ云フコトハ現ハレテ居ナイ
ノデアリマス、成ベク此法案ノ提出ノ
趣旨ニ依ッテ、斯ウ云フ方向ニ向ケテ戴
キタイト斯ウ思フノデアリマス、第三
ノ販路ノ擴張、之ニ付キマシテハ先日
來私ガ度ニ質問致シマシヤウニ、新
タナル場所、新市場ノ開拓ハ無論ノ事、
新シキ商品ノ販路ノ擴張ト云フコトニ
モ特ニ御努力ヲ願ヒタイト思ヒマス、

大正十四年二月十八日印刷

大正十四年二月十九日發行

衆議院事務局

印刷者 民文社